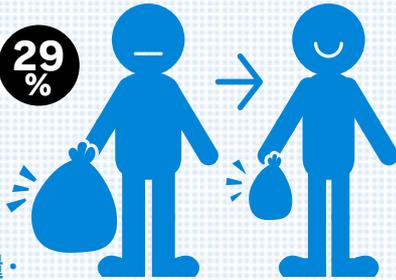


皆さんからの ご意見を紹介

寄せられたご意見の多かった項目について、
主なご意見を紹介します。

家庭ごみの有料化

2,676件 **29%**



賛成

- ・有料化でごみ減量・リサイクルの意識が高まる
- ・有料化でごみ減量・リサイクルが促進される

反対

- ・有料化は、ごみ減量や清掃事業の効率化、ごみステーション対策などやるべきことをやってから実施するべきだと思う
- ・有料化以外の方法で、ごみ減量やリサイクルに取り組むべきである

市の考え方

今回の計画では、老朽化した篠路清掃工場の廃止を目指し、22年度までに16万トン、29年度までに24万トンの焼却ごみを減量する、高い目標を掲げています。短期間でこの目標を達成するために、「雑がみ」の分別収集などのごみ減量施策を充実するとともに、その効果を最大限に高めるための経済的動機付けとして、家庭ごみの有料化を実施することとしました。

また、早期に実施できるごみ減量施策は順次着手していくほか、ごみ収集業務の民間委託の拡大や業務の効率化などによって、清掃事業の経費節減に努めていきます。

ごみステーション

1,978件 **22%**



- ・ごみステーションにルールを守らないごみが出ているので、対策を強化してほしい
- ・ごみ出しのルールを守らない人への罰則を設けるべきだ

市の考え方

ルールを守らないごみ出しを防ぐために、指導員である「さっぽろごみパト隊」が、地域の皆さんと連携してごみ出しルールの指導などを行っていきます。

特に悪質な場合には、警察などと連携して厳しく対応していきます。

- ・アパートやマンションなどの共同住宅の敷地内に、ごみステーションの設置を義務付けるべきである

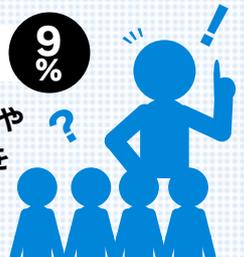
市の考え方

今回の計画では、敷地内にごみステーションの設置が必要となる新築共同住宅の対象を拡大していきます。

また、共同住宅と戸建て住宅が共用しているごみステーションで、その管理に問題が発生している場合には、共同住宅の敷地内に設置することを原則として、ごみステーションを分離していきます。

普及啓発 867件 **9%**

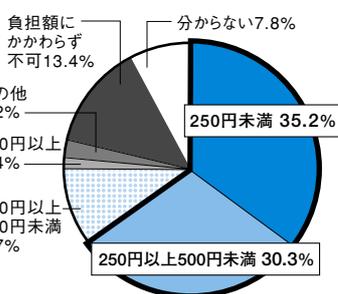
- ・分別パンフレットの全戸配布や学習会の開催など、分別方法をもっと周知してほしい



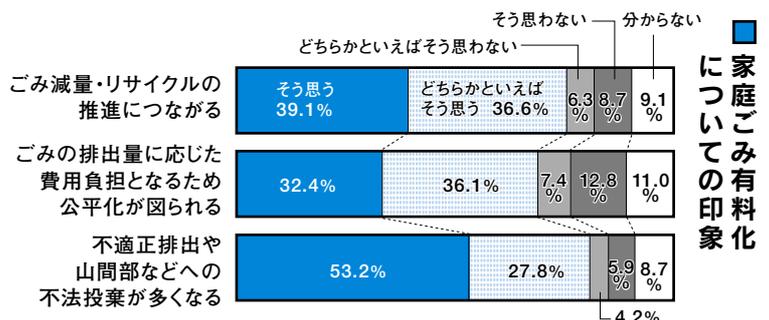
市の考え方

現在行っている、市の職員が地域に出向いて説明を行う「出前講座」などでの啓発に加え、今後は、分別方法を詳しく掲載した冊子『ごみ分けガイド』の全戸配布のほか、地域説明会や個別指導などの機会を増やし、普及啓発を充実していきます。

意見が全体の約七割を占めるという



■ 家庭ごみの有料化で、ごみ減量の動機付けがよいと思う額（一カ月分）



■ 家庭ごみの有料化についての印象